



ROTARY BRINGS HOPE

ロータリーは



希望をもたらす

国際ロータリー会長 M. A. T. カパラス 第256地区ガバナー 藤田 説量 (三条)

会長 — 日戸 平太 幹事 — 上木 六治 SAA — 外山 雅也

例会日 毎週水曜日 12:30

例会場 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 (TEL 34-3311)

事務局 三条市旭町2-5-10 (TEL 35-3477)



出席率: 会員 65名中 46名 : 先々週出席率: 89.23% (前年同期 88.24%)

今日のお花:

ヴィジター:

ゲスト:

先週のメイクアップ: 6/20 新潟北へ 榎本 勝君、藤田説量君、日戸平太君、
野村竹三郎君、内山辰策君、渡辺宏策君

6/22 三条南へ 日戸平太君、上木六治君、吉井俊介君、
五十嵐晋三君

6/23 三条北へ 日戸平太君、上木六治君、中川由春君

会長挨拶: 日戸会長

昨年の6月25日、吉井29代クラブ会長から会長バッヂを引継ぎました。こんなにも早く月日は飛び去るものか……今の実感であります。アレ、アレと云う間でありました。1986年はハレー彗星の年でありました。運命のいたずらと申しましょるかクラブ創立30周年に会長の椅子に坐らせて頂きました。私のスポンサーロータリアンの内山市長名誉会員は運命の神の一人。今日のご出席に感謝いたします。

今年度はRotary brings hopeで始まりました。ロータリアン brings hope と私は今でも解釈しております。Roma は一日にしてならず、Rotary もまたしかり。クラブ30周年に培われて来たもの、物ではなく、大切なもの、人であります。クラブのロータリアンのお一人お一人からこの一年間、hope を頂けるものと信じました。お陰様をもちまして、貴重な体験を

させて頂きました。

新しい北クラブの創立の現場をつぶさにみる事が出来ました。30年前の初代会長、幹事のご苦労に思いをはせました。チャーターメンバー近藤与助会員の退会はまさかの出来事でありました。ご冥福を祈ります。

昨日の三条新聞にエミーの文章が出ております。彼女自身の文章であります。この一年の間に立派に育ちました。ホームスティを引受けて頂いた会員奥様をはじめ、皆様のご支援のためのものであります。制服は最後まで好きになれないとの一節は抜けておりましたが。

茶の湯のお師匠から茶道具まで揃えて頂き彼女は幸せ者であります。日本語をさらに学びに来日したいと云うのが彼女の希望であります。正にロータリアンブリングスホープであります。

この一年、地区各地の会長さんとお話し出来る機会が年次大会を始め、多くありました。皆さんのガバナーの評価をここで改めて申し上げるまでもありません。そういうガバナーのすばらしい、うまいお話を耳にするホームクラブの会長が如何に胸をはって、闊歩出来たか、会長冥利と云うものでありましょう。公式訪問のお礼は、茶掛けのめぐり、ガバナーのご宗旨の顔一法然上人の歌であります。

30周年記念式典(4月29日)になりますと、会長三点セットの一人、前会長吉井さん、来週から会長の熊倉さん、20周年式典の経験者、私が幹事当時の会長の渋谷さん、それに上木幹事さんをはじめ、皆様からよい式典を挙げて頂きました。会長は何もすることが無いほどでありました。

これまでのご挨拶は、ほんの氷山の一角であります。時間の都合もありますので、のちほど皆様のお一人お一人にお礼に伺います。どうも有難うございました。

幹事報告： 上木幹事

- 三条クリーン協議会担当者会議開催のご案内
6月29日(月)正午～ 三条商工会議所
- 半期報告用紙

お礼のあいさつ： 上木幹事

お陰さまでようやく幹事としての職務を降させて頂く時が参りましてほっとしております。年度初めにあいさつをした様に記憶にありますが、1年間会員の皆さんからよきアドバイスと注意して欲しいと申し上げたようです。特に立派な人格者の日戸会長に会った事寄らば大樹の陰と云うことばがありますが、本当に大きな樹とめぐりあえて幸せだったと思います。

1年間本当に色々教えて頂きました。又会員の皆様から全面的にご協力を頂きました賜物とお礼申し上げます。

本年は三条クラブで数多くの行事がありましたが、私は与えられた職務をこつこつと一生懸命にやって来たと云う事と、却って勉強の場を与えて頂いた事を感謝いたしまして、お礼の言葉とさせて頂きます。

ニコニコBOX



三条北RC

梨本清一君

中條耕二君

内山裕一君

ご祝儀

大変永い間三条ロータリークラブの皆さんにお世話になりました。有難うございました。心から感謝申し上げます。

ご祝儀

会長、幹事慰労会

於 二洲楼

62. 6. 24 6:30～



開会点鐘



上木幹事挨拶



内山市長挨拶



藤田ガバナーに公式訪問の記念品贈呈



三条北RC中條・梨本両氏に記念品贈呈



新旧会長・幹事のバッチの申し送り

1987～1988年度 役員および委員会名簿 (◎印は委員長)

| | | | | |
|---|----------|--------|---------|-------|
| 理事会 | 会長 | 熊倉 昌平 | 職業奉仕委員長 | 松縄 弘 |
| | 副会長 | 杉野 奎司 | 社会奉仕委員長 | 堀川 政雄 |
| | 幹事 | 内山 辰策 | 国際奉仕委員長 | 五十嵐総一 |
| | 副幹事 | 長谷川有美 | 直前会長 | 日戸 平太 |
| | | | 会計 | 上木 六治 |
| クラブ奉仕委員会 ◎杉野 奎司 長谷川有美 婦山 忠家 | S A A | ◎川又嘉瑞範 | 婦山 忠家 | |
| | 出 席 | ◎小林九満太 | 廣岡 豊作 | 箱崎 源伸 |
| | プログラム | ◎小林 敬典 | 高橋 清見 | 斎藤 弘文 |
| | 親睦活動 | ◎榎本 勝 | 外山 一郎 | 丸山 金重 |
| | | 濱 潔 | 渡辺 俊雄 | 渡辺 喜彦 |
| | スマイルボックス | ◎伊藤 広一 | 中川 由春 | 婦山 忠家 |
| | 職業分類 | ◎木村二三郎 | 渡辺 宏策 | 上木 六治 |
| | 会員増強 | ◎大谷 幸平 | 松川 星吾 | 鈴木 宗資 |
| | 会員選考 | ◎野水 文治 | 渡辺 惣吉 | 野村竹三郎 |
| | ロータリー情報 | ◎山本 福七 | 吉井 俊介 | 日戸 平太 |
| 職業奉仕委員会 ◎松縄 弘 | 雑 誌 | ◎五十嵐晋三 | 石橋 育於 | 土田 栄松 |
| | クラブ会報 | ◎加藤紋次郎 | 平原 信行 | 池田 俊一 |
| | | 箱崎 源伸 | 渡辺 喜彦 | |
| | 広 報 | ◎広瀬 昌寿 | 滝沢 富雄 | 平原二三郎 |
| クラブ資料 | ◎渋谷 健一 | 小林 英雄 | 山本 恒男 | |
| 職業奉仕委員会 | | ◎松縄 弘 | 斎藤 権八 | 丸山 金重 |
| 社会奉仕委員会 ◎堀川 政雄 横山武四郎 吉田 晃 濱 潔 | 青少年活動 | ◎五十嵐昭一 | 捧 賢一 | 藤田 紘一 |
| | ローターアクト | ◎高森 昭光 | 小林 英雄 | 渡辺 俊雄 |
| | 高齢者問題 | ◎谷村 憲一 | 外山 雅也 | 大塩 淳二 |
| 国際奉仕委員会 ◎五十嵐総一 古沢 富雄 外山 一郎 | ロータリー財団 | ◎高橋 一夫 | 野村竹三郎 | 藤田 説量 |
| | 米山奨学 | ◎銅治 倫 | 岩井 和夫 | 金子左武郎 |
| | ポリオプラス | ◎高橋 一夫 | 外山 雅也 | 松谷 昊吉 |

卓 話 :

J R 東日本旅客鉄道(株)新潟支社 山口信治殿



J R 東日本新潟支社販売課長の山口です。
東日本とはどんな会社かと申しますと、1都16県に涉り、社員数は8万9千人程で、駅の数に1,744、車輛は13,266輛、バスが783台、そんな規模の会社でありまして、私鉄の総合計よりも東日本の方が大きいのです。従って鉄道会社としては一番大きいということです。

民営になりまして取り組まなければならないのは、早く地域に密着した営業で、利益を上げる会社にしなければならないということですが、3兆3千億円の借金を背負って分家に出たのですが、一番大事なのは社員教育で

あり、躰からということに取り組んでおります。

新潟支社では私に果せられたノルマは662億12百万円で、1日約2億円の現金が入りますが、民営になったばかりで金の動かし方も分らず、これから借金を早く返すにはどうすればよいかとか、金の動かし方についても本社で一生懸命にやっております。

我々は地域をお客様を忘れてはならぬということで努力しております。民営になりましてどんな営業活動をしておりますかという、旅客鉄道事業、貨物事業、新潟支社にはありませんが自動車運送事業、旅行業、倉庫業、駐車場、広告、情報処理、情報提供サービス、損害保険代理業、自動車整備業、旅行用品並びに飲食店、日用雑貨の小売業、一般土木建築業、不動産売買の仲介管理、運送機器の製造販売、精密機器の製造販売、遊園地、体育施設、或は園芸農業と、この様な非常に多岐に涉っておりますが、それらの一つ一つが運輸省の監督を受け乍ら調整をとって行くことになっておりますが、さし当たり行っているのは鉄道事業、旅行業、航空業、駐車場、旅館業、園芸農業、内水面養殖等を認可を受けて行なっております。

駅を利用する駅構内に於ける物品販売は良いのですが、街に出かけての販売は出来ないことになっております。

そういうことで一つの方針といたしまして駅を活性化する、駅を多勢の皆様からご利用頂けるよう、総合的な開発をやるということで取り組んでおります。

運賃制度につきましては法律がありまして、国会で承認されて決まっております。今まで年4～5%ずつ上っておれば良かったのが押えられておったのが、近年大巾な運賃値上げとなったのですが、他の交通機関も非常に進んで参りまして、交通機関が便利になるということは、人間の労働力や生産性が倍加する、例えば新潟、東京間は昔ですと2日かかったが、今は1日で済み、高速交通体系というものは日本の人口を2倍にも3倍にもするという意味が、高速化というものは日本の経済の基盤ということになるということで頑張っておるわけですが、運賃というものは社会に還元する前にコスト的なものを、政治的なものを考えたりして、運賃が法律になって出来ているのですが、最近では企画商品と申しまして割引するものがあります。Sキップ、Eキップで割引施策をとって行かないと硬直的になり、商売にならないということで表

向きは運賃改正、裏向きは割引運賃を作っていくことになります。

旅行業はJRと提携旅館を6,200社程つくりました。バス会社にも幹旋とか、見学のお世話するということで、航空券も販売します。ホテル、レンタカー等のお世話もして、一日も早く借金を少なくして、一本立ちした会社になりたいと思っており、地域社会と密接な連繋をとり、支持される会社になりたいと思っております。

| | | |
|-------|-------------------|----------|
| 7月1日 | クラブ・アッセンブリー | 会長・幹事 |
| 7月8日 | クラブ・アッセンブリー | 会長・幹事 |
| 7月15日 | クラブ・アッセンブリー | 会長・幹事 |
| 7月22日 | ガバナー公式訪問 | 会長・幹事・親睦 |
| 7月29日 | ゲスト卓話（越乃三水と三水会の話） | 六原鉄五郎殿 |